

# 小齋の歴史年表

齋藤良治

## 【鹿島神社と小齋城の歴史】

1 第2代景行天皇41年（1111）【 時代 今から 年前】

（日本書紀）日本武尊が蝦夷を従わせるために茨城県鹿島に鹿島神社をつくつたと伝えられている。

小齋の鹿島神社は、鹿島神社の末社として造られたと伝えられている。

2 貞観8年（866）【 時代 今から 年前】

三代実録という本には、鹿島神社の末社は陸奥の国に38社ある。伊具郡に一社ある。それが小齋の鹿島神社である。

3 建武2年（1335）【 時代 今から 年前】

小齋には小齋山城助という領主が西館にいて一帯を治めていた。小齋の齋藤軍七郎という侍がその家中になっている。

小齋城  
佐藤為信が小齋城に来る前ずうつと昔に小齋には小齋山城助という領主がいました。西館というのは、小齋城の西側のことだと考えられています。小齋氏はいつの時代から小齋にいたのかよく分かっていません。現地で西館の場所を確かめてみましょう。



4 天文元年（1532）【秀平時代 今から 年前】



小齋の領主であった小齋長門守の  
家老、齋藤軍太左エ門が荒れは  
てていた神社を再び建て直してい  
る。小齋長門守の護り神となっ  
た。

➡鹿島神社

5 天文17年（1584）【 時代 今から 年前】

伊達14代の種宗は、息子、晴宗との間に天文の乱が起こり、負けてしま  
い、丸森の丸山城に隠居させられた。

6 永禄8年（1565）5月【 時代 今から 年前】

丸山城に隠居していた伊達種宗の勢力下にあつた小齋の領主・小齋平太  
兵衛は、相馬氏の相馬盛胤・義胤父子に攻められ、滅んでしまい、小齋は  
相馬領になった。  
この頃、金山も相馬領となった。

7 永禄8年（1565）6月【 時代 今から 年前】

丸山城に隠居していた伊達種宗が78歳で亡くなり、丸山城の西の郭に  
葬られた。



伊達種宗肖像画 (仙台市博物館)



丸森丸山城の伊達種宗の墓碑

8 永禄8年 相馬家の家臣 藤原紀伊ふじわらきいが小齋城代しょうさいだいとなった。(注 城代とは、その城を守るための最高責任者) 金山城が造られ、藤原紀伊が城代になる。

9 永禄10年 (1567)【 時代 今から 年前】  
相馬氏の佐藤為信たけのぶ (宮内くわい) が小齋城の城代となる。

この頃、西館にしだて (小齋城) の東側に空堀からぼりを掘り、二の丸・本丸・三の丸を造

り、柴小屋城しばこやしろとよばれた。

写真

この空堀は、西館・小齋城と柴小屋城の間の山を切崩して造られました。その頃はまだ小齋城には、相馬氏の代官がおかれていましたが、伊達側がどんどん攻めてきていたので、それを防ぐために大急ぎで工事が行われました。その間に伊達側の勢力が強くなってきたので掘割の工事は未完成のままだったと考えられています。現地でご確認ください。



10 永禄10年(1567)【 時代 今から 年前】

伊達政宗が米沢よねざわで生まれる

11 元亀元年(1570)4月【 時代 今から 年前】

相馬盛胤・義胤父子が丸山城を攻め落とす。城代に門間かみん民部に与える。



伊達種宗が隠居した丸山城

12 天正4年(1576)7月【 時代 今から 年前】

伊達晴宗・輝宗父子が矢ノ目陣やのめじんを拠点きよてんにして小齋の相馬氏側を攻める。



写真

黄色の丸の中に四角に囲まれたところが矢ノ目陣陣です。

この写真は、昭和23年(1948)9月に東北地方を襲ったアイオン台風の時アメリカ軍のB29という飛行機から撮影されたものです。白く見えるところが洪水で水をかぶった所です。

矢ノ目陣が堀に囲まれているのがわかります。

13 天正5年11月【 時代 今から 年前】

伊達政宗11歳で元服げんぷくする。



14 天正7年11月【 時代 今から 年前】

伊達政宗、三春城主田村清頭たむらきよあきの娘 愛姫めごひめと結婚けっこんする。

15 天正9年（1581）4月【 時代 今から 年前】

相馬氏の小齋城代であった佐藤為信たのぶは、相馬家に背いて伊達側につき、小齋を与えられた。



写真 金澤明神

その時、相馬氏側から小齋城代として小齋城に来た桑折左馬之助は殺され、家来の佐藤為信の親戚であった金澤備中もこの戦いで亡くなりました。金澤備中の霊慰めるため、金澤明神が祀られています。現在は薩の高野家で管理しています。現地でお参りをしましょう。

16 天正9年（1581）5月【 時代 今から 年前】

伊達政宗（15歳）初陣はついでん。父輝宗てるむねに従い伊具郡いぐ郡に出陣する。

17 天正10年（1582）四月【 時代 今から 年前】

伊達輝宗てるむね・政宗父子出陣し、相馬義胤の軍を金津・新地・丸森・金山で攻める。

18 天正11年（1583）【 時代 今から 年前】

この年、伊達輝宗・政宗父子が丸森・金山を攻める。

19 天正12年（1584）5月【 時代 今から 年前】

伊達氏と相馬氏は、田村・白川・佐竹・岩城氏いわきの大名によって和解わかいする。伊具郡は伊達領になり、相馬氏は伊具郡から退くひきぞく。

20 天正12年(1584)7月【 時代 今から 年前】  
中島宗求、相馬との戦いに軍功があり、金山城、金山、大内、伊手村を  
与えられる。

21 天正12年(1584)10月【 時代 今から 年前】  
伊達政宗、18歳で伊達家を継ぎ、米沢城主となる。

22 天正14年(1586)9月【 時代 今から 年前】  
伊達政宗、丸森城を黒木中務宗元に与える。

23 天正17年(1589)5月【 時代 今から 年前】  
高野宍波親兼、黒木宗元の後を継いで丸森を与えられ、丸山城に移る。

24 天正19年(1591)6月【 時代 今から 年前】  
高野宍波・中島宗求・佐藤為信が古川・登米市あたりで起こった葛西・  
大崎一揆の平定に出陣し、小齋領主の佐藤為信は登米市佐沼で戦死する



鹿島神社に奉納された佐藤為信の鎧兜

登米市佐沼で戦死した佐藤為信の鎧兜は佐藤家の氏神になっていた鹿島神社に奉納されました。佐藤為信は戦いの時に兜の穴から弾を受けて戦死したといわれています。佐藤為信の墓は小齋にはなく、佐沼に埋められたといわれています。

この頼兜は丸森町の指定文化財になっています。

25 天正19年(1591)9月【 時代 今から 年前】

伊達政宗、米沢城から宮城県いわての岩出山城いわでやまじょうに移る

26 慶長3年(1598)12月【 時代 今から 年前】

石川昭光あきみつ、角田りょうしゆの領主りやうしゆなる。角田高校のある臥牛城がきゅうじょう。

27 慶長6年(1601)【 時代 今から 年前】

大條薩摩守實頼おおえだきつまかみさねより、最初に丸山城に入るが、すぐ鳥屋館とりやたてに移る。

28 慶長8年(1603)8月【 時代 今から 年前】

伊達政宗、岩出山城より新しい仙台城移る

29 元和元年(1615)【 時代 今から 年前】

一国一城令いっこくいちじょうれいが江戸幕府によって定められ、伊達領では仙台城と白石城

だけが「城」とよばれ、今までの角田城は「要害ようがい」、金山城は「要害ようがい」、

鳥屋館は「所ところ」、小齋城は「在所ざいしよ」といわれるようになった。

30 寛永20年(1643)【 時代 今から 年前】

佐藤家4代佐藤清信さとうのぶに時代に初めて奉射祭やぶさめを鹿島神社かしまじんじゃの境内で行った。



奉射祭 (やぶさめ)

この写真は、昭和12年頃の奉射祭の絵葉書です。武士の弓の上達と農作物が豊作になる事を願う神事で現在まで続いています。毎年、3月第2日曜日に鹿島神社の境内で行われています。是非見学して下さい。

31 元禄3年（1690）2月6日【 時代 今から 年前】

鹿島神社の境内から「雨乞いの壺」が発見された。



雨乞いの壺  
奉射祭の広場を広げるための工事をして  
いた時の発見された室町時代頃に造られ  
た壺です。鹿島神社の宝物として納めら  
れています。この壺には「雨乞いの壺」  
という伝説が伝わっています。  
紙芝居に作ってありますので是非見て下  
さい。

32文化2年（1805）【 時代 今から 年前】

伝説の大蛇の牙が鹿島神社に奉納された。



伝説の大蛇の牙  
この牙には伝説が伝わって  
います。このお話は紙芝居  
につくってありますので是  
非見て下さい。  
この牙は、ある海にすんで  
いる生物の牙なのです。

33 弘化5年（1848）2月【 時代 今から 年前】

岸浪七左衛門が関流の和算の額を鹿島神社に奉納した。小斎には和算

の先生がいて、たくさんの弟子  
を育て「理数の里」といわれ、  
明治時代まで続いた。  
鹿島神社に奉納された算額  
和算とは、江戸時代に発達した高等  
数学のこと





- 34 慶応3年（1867）10月 徳川幕府は政権を朝廷に返す大政奉還たいせいほうかんが行われた。江戸時代が終わる。
- 35 慶応4年（1868）1月 鳥羽・伏見の戦い。戊辰戦争ぼしんせんそうが始まる。
- 36 慶応4年（1868）5月 丸森・金山・小齋のゆうしや邑主が伊達藩の一員軍として戊辰戦争に参加し、小齋佐藤家は福島白河に出陣する。
- 37 慶応4年（1868）9月 政府軍を筆甫、大内旗巻峠で迎えて戦ったが敗れる。
- 38 慶応4年（1863）7月 江戸を東京と改める。9月 年号を明治に改める
- 39 明治6年7月 小齋小学校、遊仙寺を仮校舎にして開校する。
- 40 明治22年（1889）4月 町村制が施行され宮城県伊具郡小齋村となる。
- 41 明治37年（1904）2月 日露戦争が始まる（明治38年まで）
- 42 昭和12年（1937）7月 日中戦争始まる
- 43 昭和16年（1941）12月 太平洋戦争始まる
- 44 昭和20年（1945）8月 6日広島・9日長崎に原爆落とされる
- 45 昭和20年（1945）8月15日 日本はポツダム宣言を受け入れ太平洋戦争が終わる。12時、天皇が終戦の詔書をラジオで放送。
- 46 昭和29年（1954）12月 丸森町、金山町、筆甫村、大内村、小齋村、館矢間村、大張村、耕野村の2町6村が合併して新しい丸森町ができる。

## 【参考資料】

### 1 小斎邑主 佐藤家の系譜

初代たぬのぶ為信 ➡ 2代かつのぶ勝信 ➡ 3代さねのぶ実信 ➡ 4代きよのぶ清信 ➡ 5代やすのぶ易信  
➡ 6代ちよのぶ因信 ➡ 7代たぬのぶ為信 ➡ 8代ちよのぶ本信 ➡ 9代みちのぶ道信 ➡  
10代すけのぶ助信 ➡ 11代はるのぶ晴信 ➡ 12代うじのぶ氏信 ➡ 13代つねのぶ恒信 ➡  
14代さねのぶ実信 (ここまでが江戸時代 明治以降は省略)

### 2 伊達家系譜 (部分)

➡ 13代いさよぶね伊達尚宗 ➡ 14代たねおね種宗 ➡ 15代はるおね晴宗 ➡ 16代てるおね輝宗  
➡ 17代まさおね政宗 ➡ 18代ただおね忠宗 ➡ (以下略)

【2019年(令和元年)9月 齋藤良治作成】